

企業再建計画書

平成 年 月 日

住 所

商号又は名称

印

代 表 者 名

1 現行の経営状況・問題点

- 現在、当社がどのような経営状況にあるか、主な問題点は何かについて記載します。
- 【外部環境の視点】経済環境、取引先、競合他社等の変化により当社の経営にどのような影響を受けたかという視点で記載します。
- （例1）大手競合先の出店攻勢及び価格競争激化並びに高齢化や晩婚化に伴う大型家具の需要減少等から売上高の減少が続いている。
- 【内部環境の視点】今まで事業を継続する中で、当社の業務、組織でどのような問題が発生したかという視点で記載します。
- （例2）従業員の高齢化により、人件費が高止まりしているとともに若手従業員の層が薄い。

2 業績悪化の要因

- 上記1での経営状況・問題点に至った主な要因について記載します。
- ・ いつごろ、どのような理由から上記1に記載した問題点が発生したのか及び業績が悪化したのかという視点で記載します。
- （例1）29/3期は、事業エリアの人口増加に伴い大手競合先の出店攻勢が続き競争が激化したため売上高が減少した。
- （例2）29/3期は、モチベーション維持のため個人の業績にかかわらず毎年昇給させていることに加えて若手従業員の採用を見送っており、人件費削減が進まず赤字幅が拡大した。

3 事業再構築計画の具体的内容

- 上記2に記載した要因をどのように取り除き、問題点を解決するかについて記載します。
- ・ 事業再構築に向けた具体的な改善策について、いつ、何を、どのように行うかという視点から記載します。
- （例1）国内製家具の取扱比率を拡大し、競合先との差別化を図り、売上を確保する（30/3期、31/3期）。
- （例2）適正な人事評価及びベテランが若手を育成する教育プランを策定する（30/3期）。

4 前3を踏まえた今後の事業見通し

- 上記3による事業再構築に向けた具体的な改善策を実施した結果、事業はどのようなことになるかについて記載します。
- ・ 財務面や事業面の問題点を解決したことにより、いつ、何が、どのようなことになるかという視点から記載します。
- （例1）国内製家具の取扱比率拡充による粗利改善を図ることで、31/3期の黒字転換を目指す。
- （例2）従業員モチベーションの向上及び若手従業員の育成により生産性向上を図ることで、31/3期の黒字転換を目指す（随時）。

前々期及び前期実績は、決算書における実績を記入してください。

今後6年間の損益に関する計画を記入してください。

5 業績推移と今後の計画

(単位：千円)

	前々期実績	前期実績	計画1期目	計画2期目	計画3期目	計画4期目	計画5期目	最終目標
	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期	平成32年3月期	平成33年3月期	平成34年3月期	平成35年3月期
売上高	95,867	93,256	65,953	52,628	56,525	58,251	59,250	60,211
売上原価	52,439	53,389	32,336	23,261	24,927	25,688	26,129	26,553
うち減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0
売上高総利益	43,428	39,867	33,617	29,367	31,598	32,563	33,121	33,658
販売管理費	42,819	42,256	35,244	27,752	28,842	28,889	29,265	29,652
人件費	18,770	18,569	12,854	10,236	11,330	11,550	11,811	12,261
うち役員報酬	6,000	6,000	5,400	5,400	6,000	6,000	6,000	6,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	562	450	350	350	380	350	320	300
営業利益	609	-2,389	-1,627	1,615	2,756	3,674	3,856	4,006
営業外収益	15	15	15	15	15	15	15	15
営業外費用	869	852	842	832	811	801	750	725
経常利益	-245	-3,226	-2,454	798	1,960	2,888	3,121	3,296
特別損益	0	0	0	0	0	0	0	0
▲法人税等	70	70	70	70	70	70	70	70
当期純利益	-315	-3,296	-2,524	728	1,890	2,818	3,051	3,226

借入金（短期借入金＋長期借入金）について、金融機関別に記入してください。役員借入など返済が不要なものは記入不要です。

6 借入金の返済計画

(単位：千円)

借入先	前々期実績	前期実績	計画1期目	計画2期目	計画3期目	計画4期目	計画5期目	最終目標	
	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期	平成32年3月期	平成33年3月期	平成34年3月期	平成35年3月期	
既存借入金	日本政策金融公庫	26,520	25,520	22,250	28,652	27,211	18,652	15,523	13,252
	●●銀行	48,652	47,625	56,250	55,250	52,488	32,652	30,325	28,526
	●●信用金庫	35,621	34,652	31,256	29,852	35,526	15,526	12,356	8,215
新規借入金	日本政策金融公庫	5,000	0	8,000	0	0	0	3,000	0
	●●銀行	5,000	10,000	8,000	0	5,000	0	0	0
	●●信用金庫	5,000	0	0	10,000	0	0	0	0
合計	125,793	117,797	125,756	123,754	120,225	66,830	61,204	49,993	